

SCISSORS OF UNIVERSAL DESIGN

Patent number: JP2004154206
Publication date: 2004-06-03
Inventor: TAKABE ATSUSHI
Applicant: LEBEN HANBAI KK
Classification:
- international: **B26B13/22; B26B29/04; B26B13/00; B26B29/00; (IPC1-7): B26B13/22; B26B29/04**
- european:
Application number: JP20020320806 20021105
Priority number(s): JP20020320806 20021105

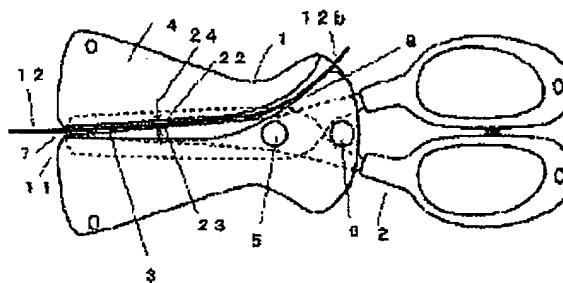
Report a data error here

Abstract of JP2004154206

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide safe and convenient scissors safely and conveniently used even by an infant and the disabled and avoiding danger against the infant caused by leaving them.

SOLUTION: The scissors are so formed that protection cover covers over both blades of the scissors, a clearance part for cutting an object to be cut is provided, a guide part smoothly feeding the cutting object passing through the clearance part is provided and the object to be cut after the cutting is prevented from abutting on the root parts of bow handle parts. The scissors are so formed that the tips of the protection cover clamp the object to be cut and the object to be cut are made to straight cut to a target. The protection cover is easily molded by combining two protection cover pieces together.

COPYRIGHT: (C)2004,JPO



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

JP 2004-154206 A 2004. 6. 3

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-154206

(P2004-154206A)

(43) 公開日 平成16年6月3日 (2004. 6. 3)

(51) Int. Cl. 7

B 2 6 B 13/22

B 2 6 B 29/04

F I

B 2 6 B 13/22

B 2 6 B 29/04

テーマコード (参考)

3 C 0 6 1

3 C 0 6 5

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L

(全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2002-320806 (P2002-320806)
(22) 出願日 平成14年11月5日 (2002. 11. 5)

(71) 出願人 302045602
株式会社レーベン販売
神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川1-23-3
(72) 発明者 高部 篤
神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川1丁目23番
3号
Fターム (参考) 3C061 BC03
3C065 AA03 GA06

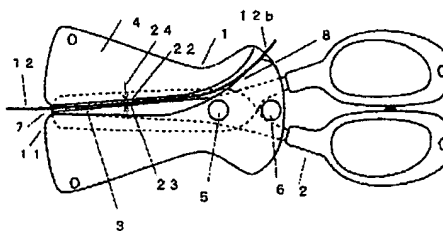
(54) 【発明の名称】 ユニバーサルデザインのハサミ

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、ハサミにおいて幼児や障害者等でも安心して便利に使える事と、うっかりしまい忘れる等による幼児等の危険性を回避する為の安全なハサミで有ると共に便利なハサミを提供することを目的とする。

【解決手段】 ハサミの両刃に保護カバーを覆い被せ、被切断物を切断する隙間部を設けると共に、隙間を通りすぎる被切断物をスムーズに送るガイド部を設け、メガネ部根元に切断後の被切断物が当たらない構造とする。また、保護カバーの先端で被切断物を挟み押さえ被切断物を目標に合わせ真っ直ぐに切れるようにした。また、保護カバーは2つの保護カバー片を組み合わせる事により成形しやすい構造とした。

【選択図】 図 3



【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハサミの両刃の部分覆う略袋状の保護カバーをハサミの駆軸及び駆軸付近に取付部を形成しハサミと組合せ取り付け、該保護カバーに被切断物を挿入可能な隙間を設けた隙間部を有する保護カバー付きのハサミ

【請求項2】

前項記載のハサミにおいて、保護カバーの隙間部の延長上に曲線状のガイド部を設け、切断後の被切断物を導きハサミのメガネ部の縁を回避するようにした保護カバー付きハサミ

【請求項3】

前項記載のハサミにおいて、駆軸からハサミのメガネ部側付近側での取付部の位置関係において、ハサミの駆軸に対し刃と反対側の根本付近の柄部が刃の先端交差位置付近で保護カバーの取付部、又は取付部付近に当たりハサミの刃部が対峙する相手の保護カバー側に入り込む量を制限した保護カバー付きハサミ

【請求項4】

前項記載のハサミにおいて両保護カバー片の取り付け部を可動可能とし取り付け駆軸に対し被切断挿入先端と対す側にバネ取り付け部を設けると共に、バネを設け、バネが両保護カバー片を広げ少なくとも駆軸に対する被切断物挿入先端の隙間部を閉じるようにした保護カバー付きハサミ

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する分野】

本発明は、主に紙や布や糸などを切るハサミに関するものであり、幼児を含めた子供たちから老人までが使用し、保育園、一般家庭、事務所等で工作、裁縫、事務処理等に使用されるものである。

【0002】

【従来の技術】

従来のハサミは刃が露出しているものが多く、使用後安全のためカバーをかけられるものや、刃先を丸めたり刃の角度を鈍角にした物が有る。また、釣り糸等を切るハサミとして全体に保護カバーをかけたものがある。また、刃の隙間を設ける為に片側に保護カバーを形成したものも考えられている。

【0003】

【解決しようとする課題】

使用後安全カバーをかけるのは面倒であり、安全カバーを紛失することもある、全体を保護カバー内に入れたハサミは安全では有るが糸等を切るのが主であり、紙や大きな材料は切りにくく力も入らない。刃の隙間を設ける為に片側に保護カバーを形成したものは両刃が露出したハサミより安全であり刃の間に挟み怪我をする事も回避できるが刃面に指を滑らす事により怪我をすることも有り得る。また、露出側の刃の背金属で叩く等の危険性や、刃の背側の金属でテーブル等を擦り傷付ける事もある。また、先端を幼児等がねじり広げてしまい、指を挟める事も考えらる。また、誤って踏んでしまった等による怪我も考えられる。一般にハサミの刃の露出により使用者が危険な状態にあると共に、例えば誤って放置した事により幼児等が怪我をする事が有る。カバーをかけ忘れた、ちょっと目を離した等により事故になる事もあり得る。また、刃の背が露出していることにより背の金属で露出側の背の金属で叩く等の危険性や、背側の金属でテーブル等を擦り傷付ける事もある。本発明は使用時にも、放置しても怪我をする事が無く、誤って叩いたり、周囲のものを傷つけたりする事が無く、安全で使いやすいハサミを提供しようとするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】

請求項1の本発明は、ハサミの両刃の部分覆う略袋状の保護カバーをハサミの駆軸及び駆軸付近に取付部を形成しハサミと組合せ取り付け、該保護カバーに被切断物を挿入可能な隙間を設けた隙間部を有するものである。

【0005】

請求項2の本発明は、前項記載のハサミにおいて、保護カバーの隙間部の延長上に曲線状のガイド部を設け、切断後の被切断物を導きハサミのメガネ部の縁を回避するようにしたものである。

【0006】

請求項3の本発明は、前項記載のハサミにおいて、駆軸からハサミのメガネ部側付近側での取付部の位置関係において、ハサミの駆軸に対し刃と反対側の根本付近の柄部が刃の先端交差位置付近で保護カバーの取付部、又は取付部付近に当たりハサミの刃部が対峙する相手の保護カバー側に入り込む量を制限したものである。

【0007】

請求項4の本発明は、前項記載のハサミにおいて両保護カバー片の取り付け部を可動可能とし取り付け駆軸に対し被切断挿入先端と対す側にバネ取り付け部を設けると共に、バネを設け、バネが両保護カバー片を広げ少なくとも駆軸に対する被切断物挿入先端の隙間部を閉じるようにしたものである。

【0008】

【実施例】

以下、本発明のハサミの実施例を図面により具体的に説明する。図1、図11に示すハサミ本体1は主に刃2とメガネ部9と柄部25で構成される2つのハサミ片2を対峙させ駆軸5でハサミ片2を図9で示すハサミ取付具14でカシメて軸駆動固定し略袋状の図1では保護カバー片4を、図11では保護カバー11bを各ハサミ片2の刃3を覆う形で被せ駆軸5で保護カバー片4、または、保護カバー11bの取付穴21を図9で示す保護カバー取付具13でカシメ軸固定すると共に保護カバー片4、または、保護カバー11bを取付部6で固定する。また、両ハサミ片2のメガネ部9を駆軸5を中心に互いに離し開いた状態を示す。これにより、刃3の先端は開いた状態になる。

【0009】

図2は図1のメガネ部9を接近させ、駆軸5を中心に刃3の先端を閉じた状態を示す。保護カバー片4はハサミ片2と組み合わせられた状態で保護カバー11を形成し、保護カバーは2mmから3mm程度の隙間を持つ隙間部7を形成する。隙間部7は図示しないが指等が入りにくいように周囲に土手状のガードを用いても良い。また、刃3先端が対峙する相手側の保護カバー片4に入り込みを制限するために柄部25内面が取付部6の周囲に当たる構造とする。これにより、各刃3は常にお互いのお互いの保護カバー片4内に収まる事になり、各刃3が各保護カバー片4の芯の役割を果たし、保護カバー11の先端が捻れ等による外圧等で隙間部4が開くことが無い様になる。

【0010】

図3は隙間部7に紙12を入れ切断を行った状態を示す。紙12は隙間部7を通り切断された後切断後紙12bは図3上方に湾曲したガイド部8を通過するものである。また、隙間部7は切断後紙12bが保護カバー11内に巻き込まれない様に、刃3を完全に閉じた状態で刃先ライン23が保護カバー11の隙間部7の外周22と紙12（被切断物）厚分の隙間を持たせた形状とする。このため隙間部7が広がる傾向にあるため図示しないが刃3の刃先ライン23を凹形状の曲面としても良い。

【0011】

図4は保護カバー片4を駆軸5を中心に少量可動可能とする為に取付部6の可動穴16を横長穴とし、保護カバー取付具13aの軸部に隙間を持たせ、保護カバー片4aが駆軸5を中心に可動する様にしたものであり、保護カバー片4aはバネ取付部20にバネ10を設けバネの両端は各保護カバー片4aのバネ掛け部に掛けバネ10は駆軸5を中心に両保護カバー片4aのバネ掛け部15を開かせるものであり、これにより駆軸5と反対側の隙間部先端7aは閉じた状態となる。

【0012】

図4に示すようにメガネ部9を広げると、刃の背3aが保護カバー片4aの内面を押し、両保護カバー11aの隙間部先端7aを押し広げた状態となる。この状態で紙12a（被

10

20

30

40

50

切断物)を隙間部7に入れ両メガネ部9の開きを少なくすると図4に示すように隙間部先端7aが閉じるものである。この状態で紙12aが押さえられ紙12aが固定されるものである。図6に示すように保護カバー片4aは同一形状又は、略同一形状となる。図7に示すように保護カバー片4は略袋状とし、刃を覆う形を示す。図8で示すように取付部6は保護カバー取付具13aで保護カバー片4に係留取付している。

【0013】

図9で示すように駆軸5はハサミ片2をハサミ取付具14で軸取付、保護カバー片4を保護カバー取付具13で軸取付している。図10はハサミ本体1が下駄部17によりテーブル18とメガネ部9との隙間に指19で拾い上げる拾い上げ隙間26を示し、(a)は保護カバー11とメガネ部9に下駄部17を設けたものであり、(b)はメガネ部9の先端付近を膨らませ、下駄部17を形成したものを示す。

【0014】

ここでの保護カバー片4は透明プラスチック材を想定しているが、不透明、半透明、色付きのプラスチック材(ABS、ポリプロピレン、PET等)やエラストマー等の弾力材等を使用や併用しても良い。また、ここでのバネ10は金属製の板バネを想定しているが、コイルバネや、プラスチック材の弾力を利用をしても良いものである。また、ハサミ取付具14ハトメ状の金属を使用しているがネジ状の留め具を使用しても良い。また、保護カバー取付具13はカシメにより行っているが、ネジ類や接着剤で固定しても、はめ込みによる方法でも良い。

【0015】

【発明の効果】

本発明は前述の構成のように、保護カバーの付いた安全なハサミであり、幼児に手渡すことも可能であり、小さい頃からハサミを使用する教育が可能である。また、単に安全だけでは無く、大人が使用しうっかりしまい忘れた等から発生する危険性もないため、幼い幼児や、障害者、老人のいる家庭でも心配が減る事になり、誰にでも安全で使いやすいユニバーサルデザインのハサミともいえ、現代社会でのストレスを軽減する事にも役立つ事と考えられる。また、保護カバーを用いたことにより危険が回避され、刃を鋭くすることが可能となりより切れ味の良いハサミとする事が可能である。また、被切断物を保護カバー先端で押さえる機構により誰しもがまっすぐに切断することが可能になる。また、メガネ部が平面に置いた時に宙に浮いた位置に有るため誰しもがハサミを拾いやすく、作業性が向上する。

【0016】

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例で両ハサミ片を開いた状態の平面図である。

【図2】本発明の実施例図1の両ハサミ片を閉じた状態の平面図である。

【図3】本発明の実施例の紙の軌道を示す説明図である。

【図4】本発明の他の実施例の両ハサミ片を開いた状態の平面図である。

【図5】本発明の他の実施例図4の両ハサミ片を閉じかけた状態の平面図である。

【図6】本発明の他の実施例の保護カバー片の形状を示す平面図である。

【図7】本発明の実施例図2のA-A断面図である。

【図8】本発明の駆軸実施例の概略説明断面図である。

【図9】本発明の取付部実施例の概略断面図である。

【図10】本発明の実施例を平面上に置いた状態の概略図である。

【図11】本発明の他の実施例で両ハサミ片を開いた状態の平面図である。

【0017】

【符号の説明】

1…ハサミ本体

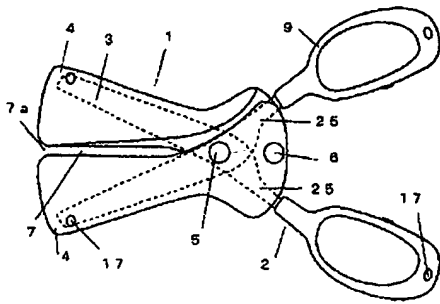
2…ハサミ片

3…刃

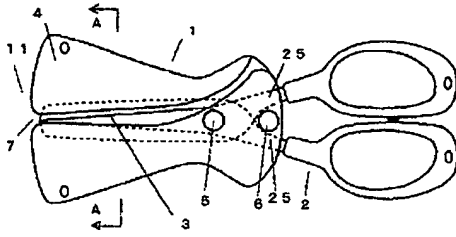
3a…刃の背

4…保護カバー片	
4 a…保護カバー片	
5…駆軸	
6…取付部	
7…隙間部	
7 a…隙間部先端	
7 b…押さえ部	
8…ガイド部	
9…メガネ部	
10…バネ	10
11…保護カバー	
11 a…保護カバー	
11 b…保護カバー	
12…紙	
12 a…紙	
12 b…切断後紙	
13…保護カバー取付具	
13 a…保護カバー取付具	
14…ハサミ片取付具	
15…バネ掛け部	20
16…可動穴	
17…下駄部	
18…テーブル	
19…指	
20…バネ取付部	
21…取付穴	
22…隙間部外周	
23…刃先ライン	
24…逃げ隙間	
25…柄部	30
26…拾い上げ隙間	

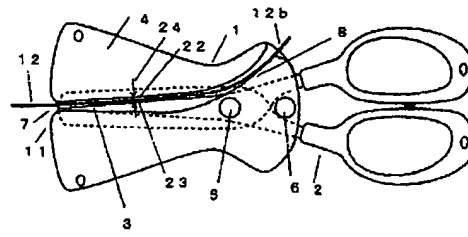
【図1】



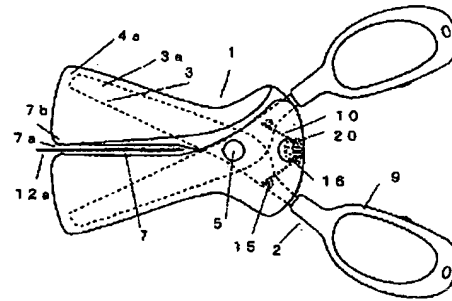
【図2】



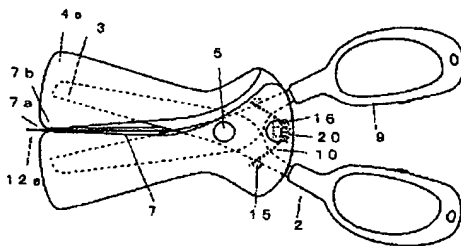
【図3】



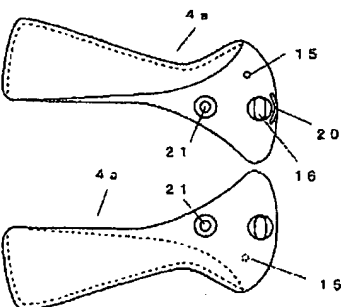
【図4】



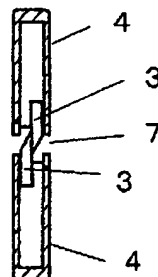
【図5】



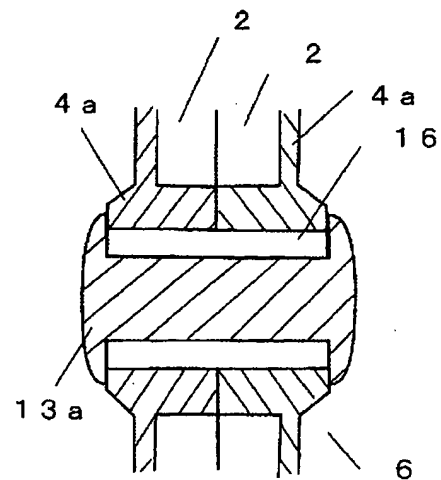
【図6】



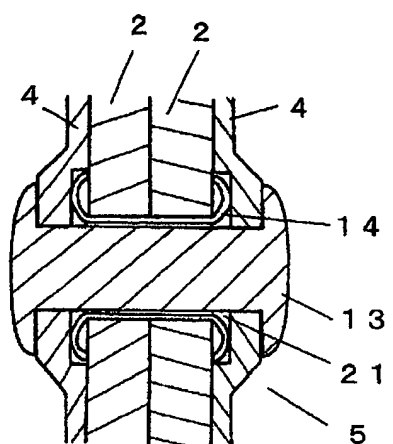
【図7】



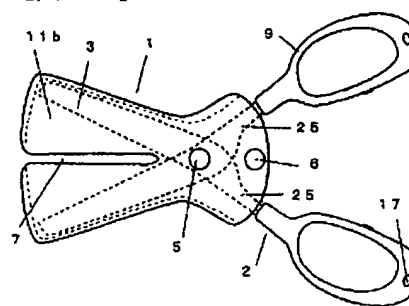
【図8】



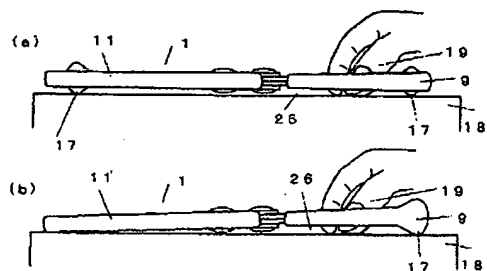
【図9】



【図11】



【図10】



74 B 161
(76 B 4)
(76 B 62)

特 許 庁
実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告
昭37-26593

公告 昭 37.10.2 出願 昭 35.8.30 実願 昭 35-16076

出願人 考案者 永 井 幹 生 別府市大字浜脇4039の1の17
(出願人において、権利譲渡の用意がある)

(全1頁)

装着したまま鋏の使用可能な鋏刃部
キャップ

図 面 の 略 解

第1図はキャップおよびそれを鋏に装着した状況を示す側面図、第2図は同視上方より見た平面図。

実 用 新 案 の 説 明

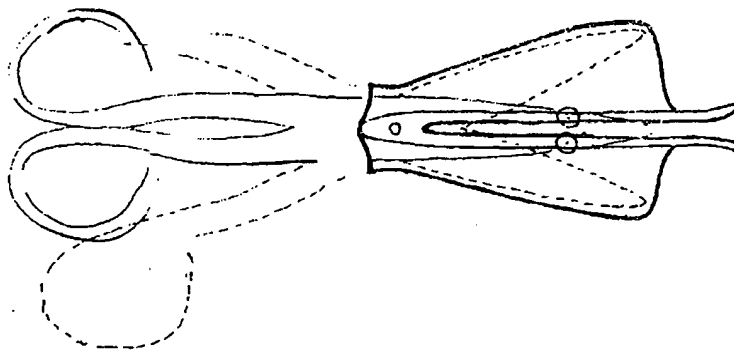
第1図に示すようにプラスチック等透明な物質で鋏の刃部を、刃部の開閉に支障ない程度におおひ、かつ尖端からは紙布など被切断物を挿入出来る間隙と、上下から被切断物に圧着して動揺、ズ

レを防ぐローラー等の圧迫体をもつキャップで、鋏による負傷、動揺、ズレによる不正確な切断を防ぐことが出来る。

登 録 請 求 の 範 囲

鋏の刃部をおおひ、包みかつ被切断物である紙布などを挿入出来る間隙と、被切断物に上下より圧着する装置をもつ鋏に装着可能なキャップの構造。

第1図



第2図

